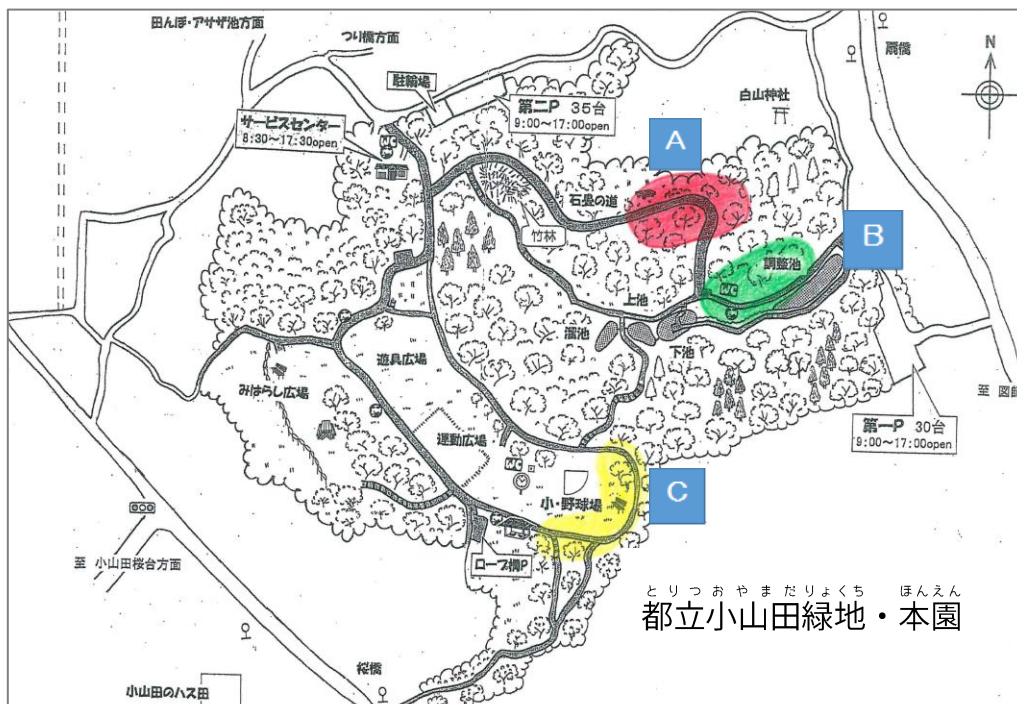


2019年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進会社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は合計842個でした。2018年の調査で集めたぬけがらは752個でしたから、見つかったぬけがらが前年に比べて約11%増加したということになります。

調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



調査地A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

調査地B

昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

調査地C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。



調査地 A



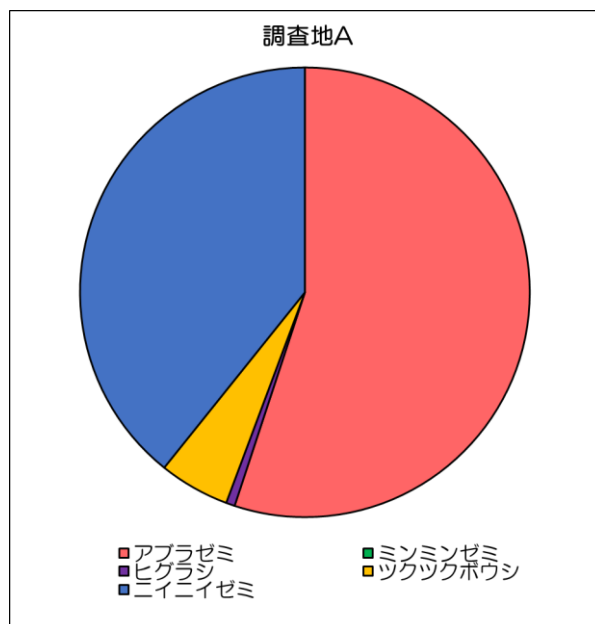
調査地 B



調査地 C

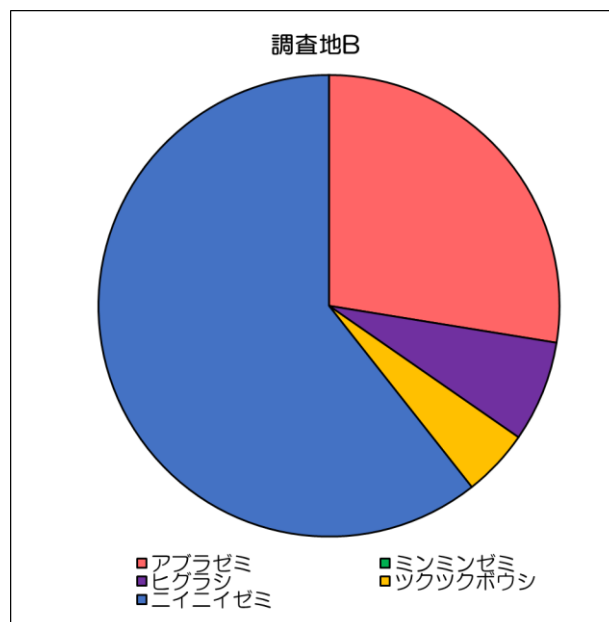
ちょうさち けっか
調査地Aの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月27日	けい 計
アブラゼミ	オス		50	43	93
アブラゼミ	メス		13	68	81
アブラゼミ	けい 計		63	111	174
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス		2		2
ヒグラシ	けい 計		2		2
ツクツクボウシ	オス			9	9
ツクツクボウシ	メス			7	7
ツクツクボウシ	けい 計			16	16
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	25	83	16	124
けい 合計		25	148	143	316



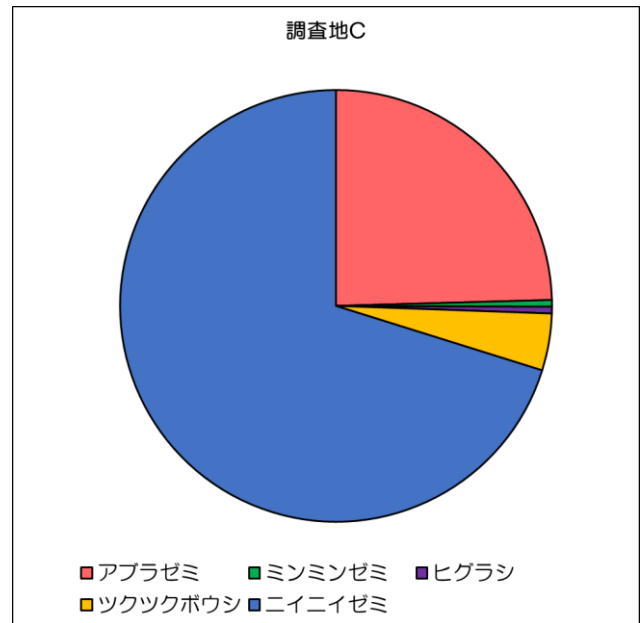
ちょうさち けっか
調査地Bの結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月27日	けい 計
アブラゼミ	オス		9	12	21
アブラゼミ	メス		6	8	14
アブラゼミ	けい 計		15	20	35
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス	1	1		2
ヒグラシ	メス	3	4		7
ヒグラシ	けい 計	4	5		9
ツクツクボウシ	オス		4	1	5
ツクツクボウシ	メス		1		1
ツクツクボウシ	けい 計		5	1	6
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	43	32	2	77
けい 合計		47	57	23	127



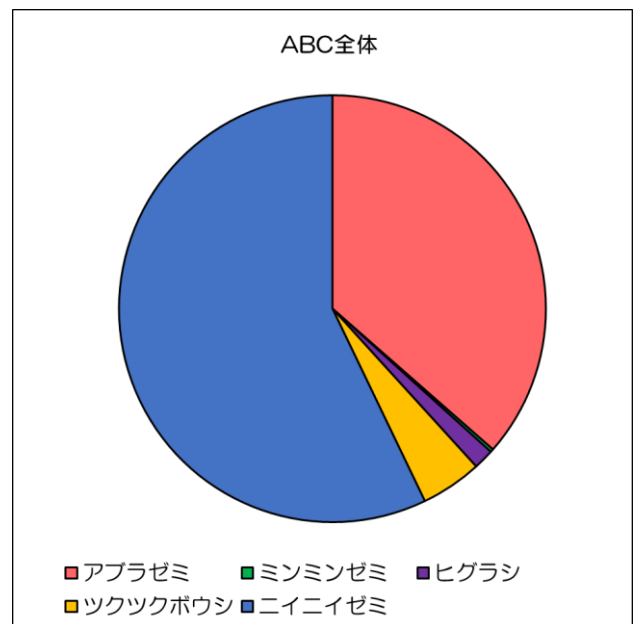
ちょうさち けっか
調査地Cの結果

しほろい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月27日	けい 計
アブラゼミ	オス		36	24	60
アブラゼミ	メス		10	28	38
アブラゼミ	けい 計		46	52	98
ミンミンゼミ	オス		1		1
ミンミンゼミ	メス			1	1
ミンミンゼミ	けい 計		1	1	2
ヒグラシ	オス		1	1	2
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計		1	1	2
ツクツクボウシ	オス		4	8	12
ツクツクボウシ	メス			5	5
ツクツクボウシ	けい 計		4	13	17
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	183	84	13	280
	ごうけい 合計	183	136	80	399

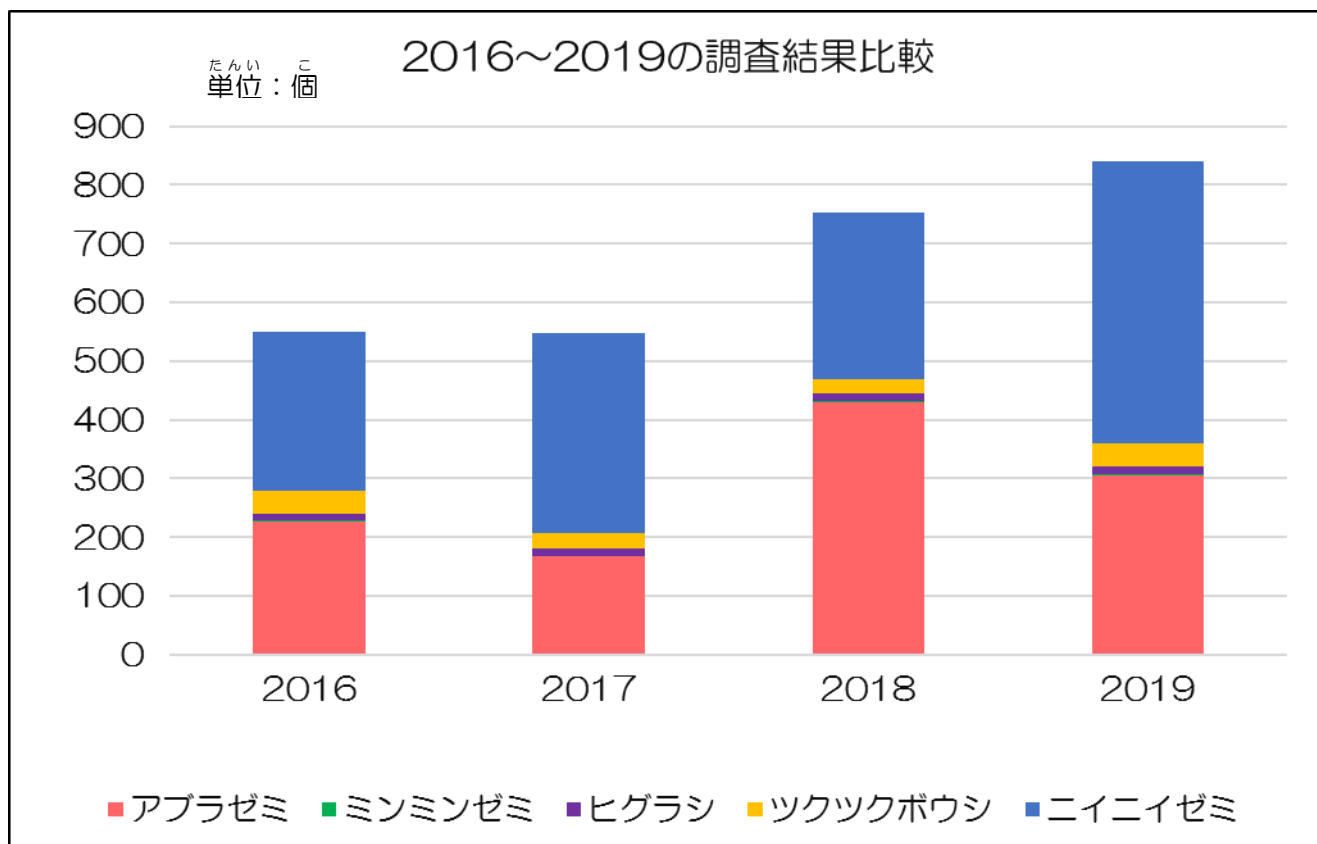


全体の結果

しほろい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月27日	けい 計
アブラゼミ	オス		95	79	174
アブラゼミ	メス		29	104	133
アブラゼミ	けい 計		124	183	307
ミンミンゼミ	オス		1		1
ミンミンゼミ	メス			1	1
ミンミンゼミ	けい 計		1	1	2
ヒグラシ	オス	1	2	1	4
ヒグラシ	メス	3	6		9
ヒグラシ	けい 計	4	8	1	13
ツクツクボウシ	オス		8	15	23
ツクツクボウシ	メス		1	15	16
ツクツクボウシ	けい 計		9	30	39
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	251	199	31	481
	ごうけい 合計	255	341	246	842



2016年～2019年の比較



- 2019年の調査ではこれまでで最も多い842個のぬけがらが見つかった。
- 2019年は1回目の調査でアブラゼミのぬけがらが見つからなかった。これは4年間で初めて。
- 2018年の調査ではアブラゼミの割合が多く、アブラゼミがニイニイゼミより多いという結果だった。2019年の調査では、ニイニイゼミの数がアブラゼミの数を上回った。2018年のアブラゼミの増加は台風による影響（例年木の高いところにあって取れないものが風で地面に落ちて、採取が可能になった）によるものだったのかもしれない。または、何年かおきに発生数が多くなっている可能性も否定できない。今後も長期の調査が必要。
- 1回目⇒2回目⇒3回目とぬけがらの数が少なくなっている。この傾向は2016年から2019年まで変わらない。
- 2016年～現在までクマゼミのぬけがらは見つかっておらず、鳴き声も確認されていない。
- ミンミンゼミの声はABCすべての調査地で確認しているが、ぬけがらが見つかっているのはCのみで、数も1、2個で非常に少ない。

ちょうさとうじつ ようす き
調査当日の様子。気がついたこと。

1回目 (2019年7月24日 午前)

- A 例年より少ない印象。
- B 調査中歩いているニイニゼミの幼虫を発見。
トイレ側の背の高いコナラの木の葉にヒグラシがぬけがらがついている。ヒグラシのぬけがらは横向き（地面と平行に）ついている。
- C 運動場のフェンスの横の柵や、植栽の桜の木にもニイニゼミが多くついでいて、例年と違う様子。あすまや近くのヤマボウシの木数本にニイニゼミのぬけがらが大量についていた。これは4年間で初めて。

2回目 (2019年8月9日 午後)

- A 木の高い所についているアブラゼミが多い。また足元にもかなり落ちている。鳴き声はアブラゼミ、ニイニゼミ、ときどきミンミンゼミ。
- B 例年しっかりとっている地面がほとんど乾いている。（例年は昼でも薄暗い印象がある）トイレ側のカシ、コナラの多いところにもかなり日が入っていて明るい。昨年、一昨年も午後に調査をし、ヒグラシの合唱が聞こえていたが、今年はそれがなかった。遠くでツクツクボウシが一頭鳴く。
- C 鳴き声はニイニゼミとアブラゼミのみ。最近草刈りがあった模様。

3回目 (2019年8月27日 午前)

- A 鳴き声はミンミンゼミ最盛期、アブラゼミもかなり鳴いていて、ツクツクボウシあり。前日夕立が激しかったので、木のまわりに細かい枝や葉が落ちている。ぬけがらも落ちている。奥の藪の中にある桜の木あたりからミンミンゼミが聞こえる。
- B 鳴き声はニイニゼミとツクツクボウシ。ヒグラシの鳴き声はなし。全体的にぬけがらが少ない。例年下草にツクツクボウシがついている場所で草刈りがあった模様。
- C 運動場側のロープ柵の柵にセミの産卵痕と思われる跡がたくさんついでいる。鳴き声はツクツクボウシがかなり多く、その合間にニイニゼミが聞こえる。

